



# 国立美術館における平成21年度美術作品購入状況

## 1. 東京国立近代美術館

種別	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	購入価格(円)
日本画	吉川靈華 (1875-1929)	菟姑射之処子	1918	紙本彩色 軸装	170.0×75.0	9,450,000
日本画	楠木清方 (1878-1972)	晩涼	1920	絹本彩色・軸装	171.0×71.8	9,500,000
洋画	坂本繁二郎 (1882-1969)	三月頃の牧場	1915	油彩・キャンバス	61.0×80.5	35,000,000
洋画	長谷川利行 (1906-1940)	カフェ・パウリスタ	1928	油彩・キャンバス	53.0×72.8	13,125,000
水彩・素描	前田青邨 (1885-1977)	那須七湯	1928	墨、彩色・紙 画帖 26面	32.8×42.6(外寸)	2,500,000
彫刻(立体造形)	ロバート・ラウシ エンバーク (1925-2008)	ポテト・バッズ	1971	段ボール	185.4×121.9×19.7	81,900,000
写真	バレニス・アボツト (1898-1991)	ポートフォリオ「10点の写真」 (1) 夜景、マンハッタン(1932年) (2) ジェイムズ・ジョイス(1928年) (3) ウジェーヌ・アジエ(1927年) (4) プリンセス・ウジェーヌ・ムラ(1929年) (5) エドワード・ホッパ(1947年) (6) エクスチエンジ・プレイス(1934年) (7) 5番街8丁目(1936年) (8) ブロックスム・レストレン、パワリー地区(1935年) (9) 工場の倉庫、ブルックリン(1936年) (10) 多数の鏡とレンズによる構成実験	1976	10点組ポートフォリオ、 Witkin-Berley Ltd.(ニューヨ ーク)制作、 ed. 30/50(+A. P. 5)	(1) 24.1x26.2cm (2) 34.4x26.7cm (3) 33.8x26.3cm (4) 34.5x26.7cm (5) 34.2x26.7cm (6) 35.0x9.3cm (7) 26.8x34.5cm (8) 26.8x34.2cm (9) 27.2x34.2cm (10) 34.8x27.3cm	2,667,000

(1959-60年)

陶磁	富本憲吉 (1886-1963)	白磁壺	1936	磁器	h18.0, D22.5	3,675,000
陶磁	ルーシー・リー (1902-1995)	青釉鉢	1978	磁土、ろくろ	h8.4 D18.3	2,940,000
陶磁	北川宏人 (1967- )	TU07005-スキンヘッド	2007	陶土、手びねり、アクリル彩色	h163.5 w40.5 d33.5	—
染織	森口邦彦 (1941- )	友禅着物 流砂文	1984	絹、友禅	162.0×138.0	—
洋画	中村一美 (1956- )	存在の鳥 107	2006	アクリル・綿布	260.1×190.8	—
彫刻(立体造形)	河口龍夫 (1940- )	関係一種子、土、水、空気	1986-89	鉛、真鍮、銅、アルミニウム、種子、土、水、空気	可変	—
写真	河口龍夫 (1940- )	113 cm(鉄道)	1973	ゼラチン・シルバー・プリント (2枚組)	各 72.8×103.0cm	—
写真	河口龍夫 (1940- )	無題(防波堤)	1973	ゼラチン・シルバー・プリント (2枚組)	各 72.8×103.0cm	—
染織	佐々木苑子 (1939- )	絵紺紬着物 翠嵐	2006	絹、織	177.0×118.0	—
金工	橋本真之 (1947- )	果樹園-果実の中の木もれ陽、木もれ陽の中の果実	1988	銅板、溶接、鍛造	h230.0	—

**他160点/合計177点**  
**購入総額:225,610,382円**

※購入価格が「—」となっている作品は、現存作家のため公表していないが、購入総額には含んでいる。

## 2. 京都国立近代美術館

種別	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	購入価格(円)
日本画	北野恒富(1880-1947)	羅浮仙	大正期頃	絹本着色/軸	147.8×50.4	1,365,000
日本画	竹内栖鳳(1864-1942)	漁樵山水図	1889	紙本墨画淡彩/襖 (8面)	4面:(各)167.5×116.54面: (各)169.0×92.8	4,725,000
日本画	玉村方久斗(1893-1951)	草花の帖	1935	紙本着色/画帖(8図)	(各)26.8×35.7	2,100,000
日本画	三上 誠(1919-1972)	戦災風物誌	1948	紙、岩彩/額	52.0×74.2	4,200,000
日本画	三上 誠(1919-1972)	作品B	1955	紙、鉛筆、インク、顔料/額	68.0×54.0	2,100,000
日本画	三上 誠(1919-1972)	作品(F41)	1949	額/板、紙、岩彩、セメント	74.6×91.2	3,150,000
日本画	三上 誠(1919-1972)	作品一赤と黒	c.1962	額/板、和紙、紙、墨、岩彩	120.0×92.0	4,200,000
油彩画	オデロン・ルドン (1840-1916)	若き日の仏陀	1905	油彩、麻布、額	65.5×50.5	180,000,000
彫刻	八木一夫(1918-1979)	つなぐれた器	1969	ブロンズ	31.0(h)×27.7×9.3	4,725,000
陶芸	熊倉順吉(1920-1985)	陶、オブジェ〈波〉	1950年代頃	陶	30.5(h)×30.0×32.0	2,100,000
陶芸	新井謹也(1884-1966)	耳付辰砂点描花瓶	1937	陶	33.0(h)×14.0×14.0	1,260,000
陶芸	八木一夫(1918-1979)	印花花壺	1971	陶	19.5(h)×25.0×25.0	3,150,000
染織	三代 田畑喜八(1877-1956)	友禅菊華文振袖	大正末	絹、友禅	180.0×132.0	1,500,000
染織	伊砂利彦(1924-2010)	王朝三部作(萌黄、王朝、朽葉)	1997	染織/各二曲屏風	各 231.0×225.0	3,000,000
その他	やなぎ みわ(1967-)	Fortunetelling	2005	DVD(14'28")	可変サイズ	—
その他	ウイリアム・ケントリッジ (1955-)	I am not me, the horse is not mine	2008	DVD8面、ビデオ・インスタレーション	可変サイズ	—
その他	椿 昇(1953-)	Radikal Dialogue project	2004-2009	展覧会コンセプト一式及び素材一式	可変サイズ	—

他98点/合計115点  
購入総額:270,367,805円

※購入価格が「—」となっている作品は、現存作家のため公表していないが、購入総額には含んでいる。

### 3. 国立西洋美術館

種別	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	取得額(円)
絵画	ジョルジュ・ブラック (1882-1963)	静物	1910-11	油彩、カンヴァス	33.3×24.1cm	168,000,000
版画	ヨハネス・オヨビルカス・ファン・ドゥーテカム〔ピーテル・ブリューゲル(1525頃-1569)原図〕	休息する兵士たち		エッチング、エン グレーヴィング	32.6×43.7cm(紙)、32.2×42.9cm(イメージ)	4,175,500
版画	レンブラント・ハルメンスゾ ーン・ファン・レイン (1606-1669)	書斎の学者(またはファウスト)	1652年頃	エッチング、ドライ ポイント、エングレ ーヴィング	21.0×16.2cm	2,625,000
版画	オデロン・ルドン (1840-1916)	版画集「ゴヤ賛」全6点組 (1)夢の中で私は空に神祕の顔を見た (2)沼の花、悲しげな人間の顔 (3)陰鬱な風景の中の狂人 (4)胎児のごとき存在もあつた (5)奇妙な軽業師 (6)目覚めたとき、私はきびしく無情な横顔をした叡智の女神を見た	1885	リトグラフ、ウオー グ紙(コシン・コレ	(1)41.2×30.5cm(紙)、29.1×23.6cm(イメージ) (2)45.2×31.6cm(紙)、27.5×20.7cm(イメージ) (3)45.2×31.6cm(紙)、22.7×19.8cm(イメージ) (4)45.4×31.6cm(紙)、24.2×20.2cm(イメージ) (5)45.5×31.5cm(紙)、19.9×19.1cm(イメージ) (6)45.0×31.4cm(紙)、26.9×21.5cm(イメージ)	4,200,000
版画	シャルル・メリヨン (1821-1868)	ノートルダム寺院の後陣(「パリの銅版画」より(8))	1854	エッチング、エン グレーヴィング、ド ライポイント	32.3×48.9cm(紙)、16.3×29.9cm(プレート)、 14.8×28.8cm(イメージ)	1,312,500

他24点／合計34点  
購入総額:188,083,000円

#### 4. 国立国際美術館

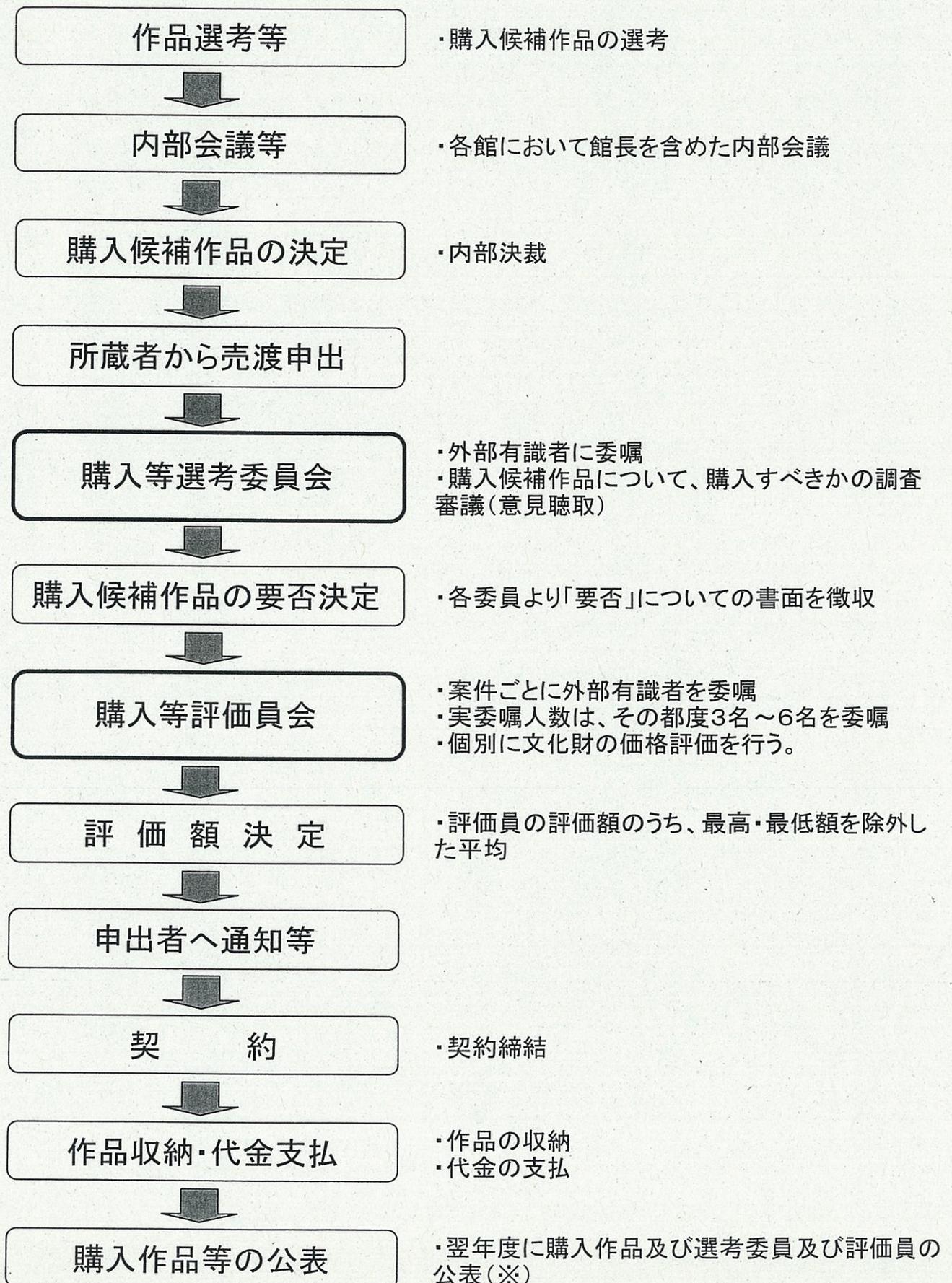
種別	作者名	作品名	制作年	材質・形状	寸法(cm)	取得額(円)
洋画	エミリー・カーメ・ウンダ フレ(1910頃-1996)	私の故郷	1993	アクリル、カンバス	91.2×122.3	5,040,000
彫刻	荒川修作(1936-2010)	抗生物質と子音にはさまれたアインシュタイン	1958-59	セメント、綿、ナイロン、着彩、ポリエステル布、木綿、木、他	166.0×107.5×21.0	21,000,000
彫刻	荒川修作(1936-2010)	ワックスマンの胸	1958-59	セメント、綿、ナイロン、着彩、ポリエステル布、木綿、木、ほか	171.0×79.5×21.5	15,750,000
彫刻	工藤哲巳(1935-1990)	水槽の中のあなたの肖像	1970-80	イヨネスコのマスク、鈴蘭、木、プラスチック、水槽、他	39.0×54.0×28.0	6,300,000
彫刻	工藤哲巳(1935-1990)	人間とトランジスタとの共生	1980-81	鳥籠、マスク、義眼、脳みそ、タバコ、プラスチック、鈴蘭、電子回路、他	28.0×40.0×23.0	6,000,000
版画	マルセル・デュシャン (1887-1968)	彼女の独身者たちによって裸にされた花嫁さえも(グリーン・ボックス)	1934	メモ、デッサン、複製写真、スウェード張りの紙箱	33.2×28.0×2.5	2,520,000
版画	フルクサス	Fluxus 1	1964/	封筒入りの作品、木箱	22.4×24.0×5.4	3,675,000
洋画	ジョー・ジェ・オズボルト (1967-)	灰色の寡婦	2008	アクリル、イコンボード	60.0×50.3	-
洋画	ジョー・ジェ・オズボルト (1967-)	形而上学的なもの以外の何を愛せと言うのか	2008	アクリル、イコンボード	50.0×40.0	-
洋画	小沢さかえ(1980-)	世界の秘密は蜜の味	2008	油彩、綿布	150.0×455.0	-
洋画	中西夏之(1935-)	背・白 edge I	2007	油彩、木炭、カンバス	259.1×193.9	-
洋画	八田豊(1930-)	流れ08-12	2008	楮(鬼皮付)、木工ボンド、麻のカンバス	128.0×180.0	-
洋画	八田豊(1930-)	流れ08-13	2008	楮(鬼皮付)、木工ボンド、麻のカンバス	128.5×181.0	-
洋画	村瀬恭子(1963-)	Around the Lilac Rock #4	2006	油彩、色鉛筆、カンバス	180.0×145.0	-
洋画	村瀬恭子(1963-)	ユキノエ	2009	油彩、色鉛筆、カンバス	180.0×230.0	-
洋画	中村一美(1956-)	オレンジ・プレート	1986	油彩、カンバス	240.0×180.0	-
水彩・素描	蔡 國強(1957-)	「神話一射日」のためのドローイング No.3	1994	墨、火薬、弓矢、紙	68.0×102.0	-
水彩・素描	蔡 國強(1957-)	「神話一射日」のためのドローイング No.8	1994	墨、火薬、紙	70.0×95.0	-
彫刻	塩田千春(1972-)	トラウマ/日常	2008	糸、服、石膏、アクリル、鉄	179.0×100.5×74.0	-

彫刻	イリヤ・カバコフ(1933-) 自分をよくする方法/翼	1998-1999	木、プラスチック、プレキシガラスに挟まれたデキスト2枚、革、羽	108.5×141.5×13.5	—
彫刻	エルヴィン・ザルム (1954-)	無題	2008	衣服、木、アクリル、樹脂	132.0×27.5×27.5
彫刻	棚田康司(1968-)	入道雲の少年	2007	朴材の一木造に彩色	159.0×48.0×45.0
写真	ライアン・ガンダー (1976-)	連想写真 9. いくつかの手段	2004	Cプリント、額装、キャプション	124.0×124.0(写真)、 15.0×21.0(キャプション)
写真	ライアン・ガンダー (1976-)	連想写真 14. 電話か他の方法で	2004	Cプリント、額装、キャプション	124.0×124.0(写真)、 15.0×21.1(キャプション)
写真	ライアン・ガンダー (1976-)	ゴーストライター・サブテキスト (もつと意味ありげでそれらしい感嘆修辭疑問符のために)	2006	2スクリーン映像インスタレーション(31:40, 28:20)	可変
写真	やなぎ みわ(1967-)	My Grandmothers: YUKA	2000	発色現像方式印画	160.0×160.0
写真	やなぎ みわ(1967-)	My Grandmothers: AI	2003	発色現像方式印画	180.0×240.0
写真	ローリー・シモンズ (1949-)	Pale Blue Living Room	1983	発色現像方式印画	125.7×94.0(フレーム)
写真	ローリー・シモンズ (1949-)	Red Bathroom	1983	発色現像方式印画	122.6×71.1(フレーム) ジ)、128.0×76.5(フレーム)
写真	ローリー・シモンズ (1949-)	Blue Woman/Blue Water	1983	発色現像方式印画	80.3×125.4(フレーム) ジ)、85.7×130.8(フレーム)
版画	風間サチコ(1972-)	危うし60階(奇襲するブリズン・ス・ガモー)	2007	木版、墨、和紙、木製パネル	182.0×120.5

**他43点/合計74点**  
**購入総額:152,538,000円**

※購入価格が「—」となっている作品は、現存作家のため公表していないが、購入総額には含んでいる。

# 国立美術館の作品購入手続について



※選考委員及び評価員の公表は、平成21年度以降に就任する委員について適用する。

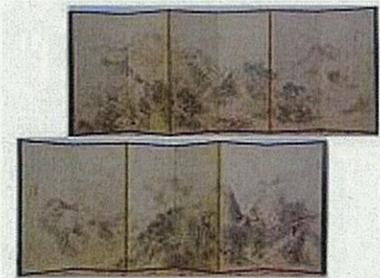
平成21年度購入文化財一覧

【東京国立博物館】(8件)

- 1 ○種 別 絵画  
○名 称 山水図屏風(さんすいずびょうぶ)  
○作 者 等 呉春(1752~1811)筆  
○時 代 江戸時代・18世紀  
○品 質 絹本墨画淡彩  
○寸 法 等 6曲1双 各163.7×364.2cm  
○作品概要 屏風装。

松の緑を残す秋の山間を農夫が歩む古村晩帰図を右隻に、冬枯れの滝の冷たく落ちる山間を高士が騎馬で進む寒山行旅図を左隻に描く。各隻の独立性が強く、左右入れ替えても不自然のない構成がとられている。呉春の師である与謝蕪村が好んだ絹本に蕪村の画風に習って描かれており、絹本の特性を生かした柔らかく澄んだ秋の光が画面にあふれる広やかな山水図となっている。蕪村に習いながら独自の画風を確立していこうとする池田時代の作品と考えられる。

○購入金額 96,000,000円



- 2 ○種 別 絵画  
○名 称 男衾三郎絵詞断簡(おぶすまさぶろうえことばだんかん)  
○時 代 鎌倉時代・13世紀  
○品 質 紙本着色  
○寸 法 等 1幅 本紙28.7×23.5cm  
○作品概要 掛幅装。

男衾三郎絵詞は、鎌倉時代の関東武士、男衾次郎・三郎の兄弟の物語を描いた物語絵巻である。一巻の当館本は鎌倉時代13世紀に遡るやまと絵絵巻として貴重な作品で、重要文化財に指定されている。

本断簡はその連れで、昭和49年の当館の「絵巻」展において田中親美蔵として展示された以外、ほとんど知られることのなかった遺品である。兄次郎の死後、その妻と娘が三郎に引き取られるが、継子いじめにあうことが残された詞書中にあり、この部分の絵と考えられる。鎌倉武士の生活ぶりが描かれたものとしても著名な絵巻であり、これを補うものとしてきわめて貴重である。

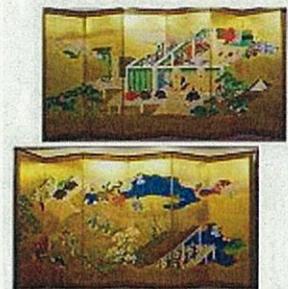
○購入金額 30,000,000円



- 3 ○種 別 絵画  
○名 称 源氏物語絵合・胡蝶図屏風(げんじものがたりえあわせこちょうずびょうぶ)  
○作 者 等 狩野晴川院養信筆  
○時 代 江戸時代・19世紀  
○品 質 紙本着色  
○寸 法 等 6曲1双 各158.0×354.0cm  
○作品概要 屏風装。

左右各隻に『源氏物語』の一帖から一場面を選んで描いたもの。右隻は、「絵合」帖から、梅壺女御と弘徽殿女御が冷泉帝の御前で絵合を競う場面、左隻は、「胡蝶」帖から、秋好中宮(梅壺女御)の行なう春の仏事に、蝶の装束をした女童が紫の上の贈った関枷棚に供える花を持って来た場面が描かれている。落款の記載から、文政2年(1819)から天保5年(1834)の間に描かれたことが知られる。佐竹本「三十六歌仙絵巻」から小野小町や中務の姿型が利用されており、古画の模写に努めた養信のやまと絵学習の成果が結実した優れた作品である。

○購入金額 25,000,000円

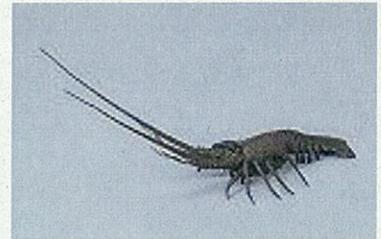


- 4 ○種 別 彫刻  
○名 称 十一面観音菩薩立像(じゅういちめんかんのんぼさつりゅうぞう)  
○時 代 平安時代・9世紀  
○品 質 木造  
○寸 法 等 1軀 像高110.2cm  
○作品概要 頭上に十一面をいただく。左手に蓮華を挿した水瓶をとり、右手は垂下して掌を正面に向ける。腰をやや左方に捻り、蓮台上に立つ。頭体幹部は通して針葉樹の一材(木心を右後方に込める)より彫出し、両肩以下、両足先等に別材を矧ぐ(別材部は後補)。素地仕上げ。

○購入金額 45,000,000円



- 5 ○種 別 金工  
 ○名 称 自在伊勢海老 (じざいせいび)  
 ○作 者 等 明珍宗清作  
 ○時 代 江戸時代・18~19世紀  
 ○品 質 鉄製  
 ○寸 法 等 1個 長28.4cm  
 ○作品概要 鉄製。



本物の伊勢海老のように自由自在に動かすことのできる置物で、触覚、腹節、胸脚、尾扇を動かすことが可能で、体全体と伸ばした状態から、触覚を後ろに曲げ、腹節を丸めた姿にすることができる。頭胸甲には全体にトゲを打ち出しで表す。脚に「明珍」、「宗清」と銘を切り分けている。

○購入金額 3,150,000円

- 6 ○種 別 刀剣  
 ○指 定 重要美術品  
 ○名 称 短刀 (たんとう)  
 ○作 者 等 越中則重  
 ○時 代 鎌倉時代・14世紀  
 ○品 質 鉄製  
 ○寸 法 等 1口 刃長 25.2センチ 内反り  
 ○作品概要 平造、三ツ棟、内反りの短刀。

鍛えは大板目肌に杓目を交えて肌立ち、地沸厚くつき、地景太くあらわれ松皮肌となる。刃文は表はのたれに互の目交じり、裏は大のたれとなり、飛焼激しくついて皆焼風となり、沸厚くつき、砂流、金筋激しくかかる。帽子は、表直ぐに小丸、裏沸崩れる。茎は生ぶ、振袖形、先切、鑓目勝手下り、目釘孔4中2埋、佩表の目釘孔下中央に「則重」の銘がある。

○購入金額 25,000,000円 (6と7の合計額)



- 7 ○種 別 刀剣  
 ○指 定 重要美術品  
 ○名 称 薙刀 (なぎなた)  
 ○作 者 等 長船元重  
 ○時 代 南北朝時代・建武5年 (1338)  
 ○品 質 鉄製  
 ○寸 法 等 1口 刃長46.7cm 反り2.1cm  
 ○作品概要 薙刀造、庵棟、鋒は張らず、反りの浅い薙刀。

鍛えは板目肌立ちところに、一部流れて疵がかり、乱映りが淡く立つ。刃文は中直刃、元の方に逆足入り、匂本位に小沸つき、匂口沈みごろとなる。帽子は直ぐに小丸に返る。彫物は表裏に薙刀樋に添樋を鍔下で丸止めにする。茎は生ぶ、先栗、鑓目筋違、目釘孔2、佩表の鍔下棟寄りに「備州長船住元重」、佩裏に「建武五年三月日」の銘がある。

○購入金額 25,000,000円 (6と7の合計額)



- 8 ○種 別 漆工  
 ○名 称 蓬萊蒔絵香道具箱 (ほうらいまきえこうどうぐばこ)  
 ○作 者 等 孫兵衛作  
 ○時 代 江戸時代・17世紀  
 ○品 質 木製漆塗  
 ○寸 法 等 1具 縦11.3cm 横18.9cm 高12.9cm  
 ○作品概要 長方形、印籠蓋造の箱で、蓋の肩から四角にかけてを几帳面に仕立て、蓋と身の縁に玉縁を作る。内に香盆1枚、香炉1口、重香合2合、焚燬入の蓋1枚を収める。箱や内容品の表面は全体を梨子地として、外側には高蒔絵・平蒔絵に切金・金貝・付描を交え、松・竹・梅・橘・椿が生い茂る水辺に鶴亀が遊ぶ、蓬萊の図柄を表わす。また所々に葵紋を散らしている。

○購入金額 5,000,000円



以上

## 平成21年度購入文化財一覧

### 【京都国立博物館】（計7件）

- 1 ○種別 <絵画>  
○名称 「新曲」絵巻 「しんきょく」えまき  
○員数 二巻  
○時代 江戸時代 18世紀  
○品質 紙本著色  
○寸法等 各縦33.2cm 長(上)1722.2cm (下)1463.8cm  
○作品概要 この作品は幸若舞の「新曲」を絵巻化したもので、「新曲」という名は、幸若舞曲に最後に追加された新しい曲であることによるという。  
物語は『太平記』巻第十八の「一宮御息所事」に取材したもので、後醍醐天皇の第一皇子尊良親王の恋を主題としている。  
『新曲』の奈良絵本は、明星大学所蔵縦型特大本2冊、工藤早弓著『奈良絵本上』（京都書院）所収横型本2冊、『日本書古書目録89』（臨川書店）所載横型3冊本、京都・個人蔵改装絵巻本2巻などが知られ、絵巻はこのほか、桃山時代に遡る作品が一件知られるのみで、遺品は多くない。  
金泥下絵のある詞書料紙をもち、町絵師の画風になる絵巻は、近世大名の注文制作になることが指摘されているが、この絵巻もその可能性がある。制作時期は、人物表現や水墨画中画の特色などから、十八世紀初め頃と推定される。  
この絵巻は各巻首に「松代藩飯島勝蔵書章」の印があり、箱に「菊園文庫」と記されており、松代藩の故実家で、幕末に藩史編纂を行った飯島勝休(1815~1888)の蔵書であったことが知られる。飯島の蔵書のうち、藩史史料は現在長野県歴史館に飯島文庫として保管されているが、文学資料は外に出たらしく、他にも同印のある本が知られている。本絵巻は近年イギリスのオークションで出品され、里帰りした。



○購入金額 5,775,000円

- 2 ○種別 <絵画>  
○名称 双鹿図 長澤蘆雪筆 そうろくず ながさわろせつひつ  
○員数 一幅  
○時代 江戸時代中期 (18世紀)  
○品質 紙本着色金泥  
○寸法等 79.2cm×88.7cm  
○作品概要 立ち姿の雄鹿と、脚を屈した雌鹿が描かれる。左下に「蘆雪写」の署名と「長澤」「魚」の印がある。長澤蘆雪(1754~1799・宝暦4~寛政11)は、円山応挙の門人。その作品には、自由な主題解釈、さまざまな造形表現の実験が見られ、独自の生命感あふれる表現をしめしており、個性的画家として評価はとみに高まっている。  
印は、山川武氏による印譜(国華860号)のNo.20にあたる。森川家旧蔵「蓬萊山図」などの印影と一致する。草書落款であり、南紀での仕事のあと、とくに寛政4年(1792)以降、最晩年作と目される。



当館蔵の円山応挙筆「鹿図」2曲1隻の図様をちょうど180度回転させたような図様で、応挙の雄鹿が正面観でこちらを見つめるのに対し、こちらにお尻を向けた後姿に描かれている。応挙の鹿の顔が可憐な表情をしめすのに対して、この蘆雪の鹿の顔はどこか人間臭い。

対象は、細部までじつに丁寧に描かれており、芦雪の力量がよく窺える。館蔵の応挙の鹿図は、18世紀半ば以降、大流行した南蘋流の鹿の描き方と関連付けられるが、蘆雪の鹿図は、その延長線上にあつて、さらに蘆雪らしい変化を加えたものと位置づけられよう。

蘆雪が描いた動物図としては南紀・無量寺の虎図襖が有名で、その人間くさいユニークさが注目されているが、本作にも蘆雪らしい魅力が遺憾なくしめされている。

当館には、京都の絵師でありながら蘆雪の作品がまだ一点も館蔵されていない。本作は、なかなかの大幅であり、展示効果も高い。「近世絵画における動物表現」といった親しみのあるテーマでの特集展示を行う際にも、活躍が期待される。収集が強く望まれる。

○購入金額 10,500,000円

- 3 ○種別 <絵画>  
○名称 秘伝画法書 狩野永良筆  
ひでんがほうしょ かのうえいりょうひつ  
○員数 二冊  
○時代 宝暦十三年(1763)  
○品質 紙本墨書・墨画  
○寸法 各縦18.1cm、横12.2cm  
○作品概要 京狩野家の画法の秘伝書で2帖からなり、表裏にわたって文章・図解がみられる。

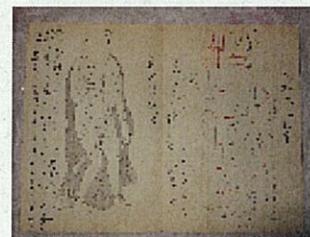
「上帖」では、序文のあと、牧谿・玉澗・高然暉・夏珪をはじめ中国の画家15名の画法を文章で記したあと、岩・滝・水流の描き方、樹木の描き方、飛ぶ鳥の描き方、樹木の木肌の描き分け、人物の描き方(とくに裸体を描いて、その上に着物をきせて描く方法は、円山応挙の手法の先駆けとなるもの)などを図解する。「下帖」では、人物の描き方、山水図の描き方、楼閣の描き方などが図解されている。

序文末に「時二宝暦十三癸未年孟夏下旬/狩野縫殿助藤原永良謹白」とあり、白文方印「狩埜」朱文方印「永良」が捺されている。これにより、宝暦十三年(1763)4月下旬、狩野永良(1741~1771)23歳のときの自筆本と分かる。

狩野永良は、山楽・山雪に始まる京狩野の第六代。31歳没と若くして没している。公家の九条家や宮廷で活動した。若くして亡くなったため、作品の絶対量も限られると思われる。作例としては、「白梅群鶏図」(京都国立博物館、平成20年度購入)、「親子犬図」(西王母・東方朔図屏風)(いずれも静岡県立美術館)など、数件が知られるにすぎない。遺された作品には、同時代の長崎派や伊藤若冲、池大雅などの影響がしめされている。

土居次義『『画伝集』の人物画法』(『近世日本絵画の研究』美術出版社1970所収)に、土居氏所有の狩野永良の秘伝画法書が紹介されているが、それとは別のもの。

京狩野については、初期の山楽・山雪・永納・永敬、幕末の永岳に関しては、かなり研究されてきたが、その間の絵師に関しては、これまでほとんど研究が進んでいない。今後、研



究されるべき絵師たちであり、なかでも京都文化の隆盛期である18世紀半ばに活動した永良は注目される。その永良がのこした、京狩野の絵画制作法のいったんをしめす、きわめて興味深い資料であり、館蔵にふさわしいものとして、収集が望まれる。京狩野作品をあつめた展示にも生かされることになるう。

○購入金額 2,100,000円

- 4 ○種 別 <陶磁>  
 ○名 称 色絵西洋人物図急須 尾形周平作  
 いろえせいようじんぶつずきゆうす おがたしゅうへいさく  
 ○員 数 一口  
 ○時 代 江戸時代(19世紀)  
 ○品 質 施釉陶器、底裏周辺露胎  
 ○寸 法 総高9.9cm 口径6.4cm 胴径9.3cm 底径6.9cm  
 長12.0cm 幅10.7cm

○作品概要 江戸時代後期の京焼の名工として知られる二代高橋道八(仁阿弥:1783~1855)の実弟・初代尾形周平(1788~1839)の製作にかかる煎茶具の急須。周平は、尾形乾山(1663~1743)に私淑し、尾形姓を名乗った。共箱であることに加え、胴部に「應需造之 甲午秋良日 尾形周平」という赤絵銘があることから、天保五年(1834)に製作されたものであることが判り、貴重である。

胴部に描かれた西洋人図ひとつをとっても、「阿蘭陀趣味」といわれる江戸時代後期の西洋趣味は十分に窺われるところであるが、クリーム色の器に褐色の彩色を施している点も、クリームウェアと呼ばれるイギリス製の皿の意識的な模倣と考えられ、全体に「阿蘭陀趣味」溢れる作品となっている。小品ではあるが、作者・制作年代が判るという点で研究上の基準作となることに加え、煎茶に「阿蘭陀趣味」という江戸時代後期の文化的流行を端的に示す作品である。

○購入金額 2,100,000円



- 5 ○種 別 <漆工>  
 ○名 称 双龍花鳥蒔絵螺鈿裁縫道具入  
 そうりゅうかちょうまきえらでんさいほうどうぐいれ  
 ○員 数 一合  
 ○時 代 江戸時代 1640年前後  
 ○品 質 木製漆塗蒔絵螺鈿  
 ○寸 法 16.5×4.3×3.5cm  
 ○作品概要

西洋人の求めに応じて制作された漆器。16世紀末以来、大量に輸出された洋櫃や書筆筒などの定番商品とは異なり、細かな注文に応じて作られた道具入れである。印籠蓋造で、蓋と身の側面にそれぞれ一対の紐通しがあり、まさに印籠のように脇に通した紐で蓋を閉じて携帯できるようになっている。鍔の鞘と棒状の器具を入れる孔があり、オランダに伝わる銀製や革製の類品から、女性用の携帯裁縫道具入れと考えられる(付属の金象嵌の鍔は18世紀の品と思われる)。16世紀の終わりから17世紀の間、オランダの女性は腰からスカートにそって長い鎖を垂らし、鍵や裁縫道具入れをぶら下げていた。例えばヘンドリック・アフエルカンプ(1585-1634)の描いた風俗画に裁縫道具入れをぶら下げた女性たちの後姿を確認することができる。



日本製の輸出漆器の様式は、もとは黒漆地に金平蒔絵と螺鈿を用いて、幾何学文の縁取りの中に余白を残さずに花鳥獸などを描くいわゆる「南蛮漆器」が主流であった。しかし、1630年代から徐々に、螺鈿を用いず高蒔絵を交えて余白のある図を描く「紅毛漆器」へ変化すると考えられている。また1640年前後には、非常に丁寧な蒔絵の特注品が作られたことが知られている。本品は、螺鈿と平蒔絵を用いた幾何学文に南蛮漆器の名残を残しつつ、余白を多く残した龍、松に鳳凰、竹に虎などの図に新しさを見せており、特殊な形状や丁寧な細工からも、1630-40年の過渡期の特注品と位置づけられる。小品ながら、世界にひとつしか確認されていない珍品中の珍品であり、保存状態も抜群によく、江戸時代に西洋の需要にさえ応えてものづくりをおこなっていた京都の柔軟な技術力を伝える点でも貴重であるため、京都の国立博物館の収蔵品として一般に公開されるに相応しい品といえるだろう。

○購入金額 12,000,000円

- 6 ○種別 <考古>  
 ○名称 三角縁三神三獸鏡 さんかくぶちさんしんさんじゅうきょう  
 ○員数 一面  
 ○時代 古墳時代 4世紀  
 ○品質 青銅鑄造  
 ○寸法 面径 21.2cm  
 ○作品概要 古墳時代前期に日本で製作された青銅鏡。いわゆる倣製鏡。鏡背面の内区に六個の乳を配し、その間に形骸化した神像と獸像をそれぞれ三体配置する。銘帯には「吾作明鏡甚独孫子宜〜」の文字が鑄出されている。この文字は日本列島に於ける漢字表現の最古例のひとつ。同じ形の鏡が北部九州や大阪府からも発見されているが、これは新資料といえる。出土地は不詳。

○購入金額 6,000,000円



- 7 ○種別 <考古>  
 ○名称 画文帯神獸鏡 がもんたいしんじゅうきょう  
 ○員数 一面  
 ○時代 古墳時代 5世紀  
 ○品質 青銅鑄造  
 ○寸法 面径 21.2cm  
 ○作品概要 古墳時代中期、5世紀の古墳から出土する例の多い鏡。中国鏡を日本列島で精巧に模倣したもの。鏡背面の内区には神像と獸像を交互に配置している。銘文は方形の区画内にあり「天王日月」と鑄出される。銅質は良好。出土地不詳。

○購入金額 2,000,000円



以上

平成21年度購入文化財一覧

【奈良国立博物館】(計4件)

1	<p>○種 別 ○名 称  ○員 数 ○時 代 ○品 質 ○寸 法 等 ○作品概要  ○購入金額</p>	<p>&lt;書跡&gt; 華嚴經(二月堂焼経) 卷第二十四 (けごんきょう にがつどうやげぎょう) 一巻 奈良時代 8世紀 紺紙(麻紙) 銀字 卷子装 縦23.5cm 長969.9cm 東大寺二月堂に伝来した六十巻本(旧訳)『華嚴經』で、東大寺の修二会期間中に行われる実忠忌(旧暦2月5日)に用いられたものと考えられる。寛文7年(1667)2月14日、修二会の期間中に東大寺二月堂が火災に遭い、その際に焼損、焼け跡から発見されたものであるため、「二月堂焼経」と呼ばれている。現存する奈良時代唯一の紺紙銀字経であり、装飾経の貴重な遺例である。</p> <p>○購入金額 34,650,000円</p>	
2	<p>○種 別 ○名 称  ○員 数 ○時 代 ○品 質 ○寸 法 等 ○作品概要  ○購入金額</p>	<p>&lt;工芸&gt; 玉虫厨子 模造 (たまむしのずし) 1基 大正十年(1921) 木製 黒漆塗 漆絵 金銅装 総高226.0cm 基壇幅137.2cm 基壇奥行119.5cm 吉田立齋(1867-1935)が製作した法隆寺所蔵の玉虫厨子(原品は飛鳥時代)の模造で、大正十年の品である。本品は玉虫の羽根を金具の透かしに詰め込む点(原品は金具の下に敷きつめている)、漆絵のみで密陀絵の併用が認められない点、屋根の妻側に鉤形金具がない点など、原品との差異も認められるが全体としてきわめて忠実な模造品であり、現品の詳細な観察と確かな漆工技術の裏付けがあって初めて可能な高水準の模造とすることができる。</p> <p>○購入金額 15,750,000円</p>	
3	<p>○種 別 ○名 称  ○員 数 ○時 代 ○品 質 ○寸 法 等 ○作品概要  ○購入金額</p>	<p>&lt;工芸&gt; 金銀平脱皮箱 模造 (きんぎんへいだつのかわばこ もぞう) 1合 近代(20世紀) 革製、漆塗、金銀平文、被蓋造 蓋 縦27cm 横32.3cm 高6.7cm 身 縦25.4cm 横30.7cm 高7.1cm 総高8.1cm 正倉院宝物として中倉138に整理されている金銀平脱皮箱第4号の模造品である。原品は平脱技法(剥取平文)で金銀板が貼り付けられるが、本品は平文技法(研出平文)で文様が表されていると考えられる。外箱の蓋表に「寧楽 大閑堂監製」とあり、奈良漆器や古美術品を商った大閑堂(玉井久次郎)が製作させたものと推測される。大閑堂によって作られた精巧な正倉院宝物の模造である本品は、近代奈良の懐古趣味や正倉院宝物模造などの歩みを考える上で、重要な資料といえるであろう。</p> <p>○購入金額 2,100,000円</p>	

4	○種別 ○名称 ○員数 ○時代 ○品質 ○寸法等 ○作品概要  ○購入金額	<書跡> 手鑑 (てかがみ) 一帖 奈良時代～江戸時代(8～17世紀) 折帖装 紙本(一部彩牋) 墨書 縦 39.5 cm 横 25.1 cm 厚 10.5cm 長 1580cm 古人の優れた筆跡を鑑賞し、また書の手本とするために典籍の断簡等をアルバム状に貼り込む「手鑑」は、室町時代後期ころから作られはじめ、江戸時代に隆盛した。手鑑製作が盛んになるとともに筆跡の真贋を定め筆者を特定する鑑定家が登場し、手鑑の形にも定型が生まれた。手鑑の定型は折帖装の厚い台紙を用い、その表裏全面にわたって筆跡を貼り込むもので、本品も含め現存品のほとんどがこの形式である。本品の筆跡206葉の内容は、約半数が和歌集や物語といった古典籍の断簡(いわゆる古筆切)であり、それ以外では写経や聖教が10葉程度で先掲の類品に比べて少ない一方、和歌短冊が80葉以上あって全体の4割ほどを占める。	
---	---	--	---

以上

## 平成 21 年度購入文化財一覧

### 【九州国立博物館】(計 24 件)

- 1 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 紙本著色病草紙断簡(侏儒)(しほんちゃくしよくやまいのそうしだんかん しゅじゅ)
  - 員 数 1 幅
  - 時 代 平安-鎌倉時代・12 世紀
  - 品 質 紙本著色
  - 寸法等 縦 26.3 横 40.7 cm
  - 作品概要 掛幅装。
  - 来 歴 大館高門、関戸家旧蔵
  - 購入金額 178,500,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 2 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 絹本著色春日宮曼荼羅図(けんぼんちゃくしよくかすがみやまんだらず)
  - 員 数 1 幅
  - 時 代 鎌倉時代・13-14 世紀
  - 品 質 絹本著色
  - 寸法等 縦 68.6 横 29.7 cm
  - 作品概要 掛幅装。
  - 来 歴 井上公爵家伝来
  - 購入金額 50,400,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 3 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 絹本著色柿本人麿像(けんぼんちゃくしよくかきのもとひとまろぞう)
  - 員 数 1 幅
  - 時 代 室町時代・15 世紀
  - 品 質 絹本著色
  - 寸法等 縦 84.2 横 38.1 cm
  - 作品概要 掛幅装。
  - 購入金額 32,550,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 4 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 紙本金地著色韃靼人狩獵図 六曲屏風(しほんきんじちやくしよくだつたんじんしゅりょうず ろつきよくびょうぶ)
  - 員 数 1 双
  - 時 代 安土桃山-江戸時代・16-17 世紀
  - 品 質 紙本金地著色
  - 寸法等 縦各 157.5 横各 487.8 cm
  - 作品概要 屏風装。
  - 来 歴 岡山・平松家旧蔵
  - 購入金額 50,000,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 5 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 紙本著色九相図(しほんちゃくしよくくそうず)
  - 員 数 1 巻
  - 時 代 鎌倉時代・14 世紀
  - 品 質 紙本著色
  - 寸法等 縦 32.0 横 495.4(第 1 紙 50.0、第 2 紙 49.3、第 3 紙 49.8、第 4 紙 49.9、第 5 紙 49.7、第 6 紙 50.0、第 7 紙 49.7、第 8 紙 50.2、第 9 紙 49.2、第 10 紙 47.6) cm
  - 作品概要 卷子装。
  - 来歴など 東京国立博物館寄託
  - 購入金額 399,000,000 円 (平成21年度第2回鑑査会議)
- 6 ○種 別 <絵画>
  - 名 称 絹本著色束帯天神像(けんぼんちゃくしよくそくたいてんじんぞう)
  - 員 数 1 幅
  - 時 代 南北朝-室町時代・14-15 世紀
  - 品 質 絹本著色
  - 寸法等 縦 90.8 横 40.7 cm
  - 作品概要 掛幅装。
  - 銘文など 本紙色紙形墨書「都府楼纒／瓦色観音寺／只聞鐘聲」「こ地婦か半に本／ひお古勢口梅乃／者那ある思な之と／帝者流をわ寿流な」、蓋表墨書「天神真筆御影」、箱側面貼紙「口京寶物／天神口像」、上巻墨書「自先祖代々相伝口也／永仁四申丙年十二月日 従五位下左衛門尉口／藤原」、箱の革紐の一方が欠失している。

○購入金額 50,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

7 ○種 別 < 絵画 >

○名 称 紙本墨画淡彩山水図(しほんぼくがたんさいさんすいず)

○員 数 1 巻

○時 代 室町時代・15 世紀-16 世紀

○品 質 紙本墨画淡彩

○寸法等 縦 19.5 横 549.0(第 1 紙 35.6、第 2 紙 38.0、第 3 紙 38.2、第 4 紙 38.4、第 5 紙 38.2、第 6 紙 38.3、第 7 紙 38.2、第 8 紙 23.9、第 9 紙 39.0、第 10 紙 39.2、第 11 紙 38.7、第 12 紙 38.9、第 13 紙 39.7、第 14 紙 39.9、第 15 紙 24.8) cm

○作品概要 卷子装。

○銘文など 本紙に墨書「柳口尋春」「桃嶮輕帘」「春溪小築」「短筇出口」「清溪晚渡」「竹嶋幽房」「山腹南關」

○購入金額 55,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

8 ○種 別 < 絵画 >

○名 称 紙本墨画葡萄図 六曲屏風 李蔭庭筆(しほんぼくがぶどうず ろつきよくびょうぶ りいんていひつ)

○員 数 1 隻

○時 代 朝鮮 朝鮮時代・17 世紀-18 世紀

○品 質 紙本墨画淡彩

○寸法等 縦 128.4 横 205.6 cm

○作品概要 屏風装。

○銘文など「逢時青換紫得意苦来甜／歳次癸卯荷月摸倣晋人筆法／於綵美書屋／澤軒李蔭庭」

○購入金額 35,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

9 ○種 別 < 書跡 >

○名 称 大般若波羅蜜多經 卷第三百七十九 東大寺八幡宮經(だいはんにやはらみたまきょう まきだい379とうだいじはちまんぐうきょう)

○員 数 1 巻

○時 代 鎌倉時代・寛喜元年(1229)

○品 質 紙本墨書

○寸法等 表紙 縦 26.2 横 21.5、本紙 縦 26.2 横 第 1 紙 50.0、第 2 紙 52.2、第 3 紙 51.9、第 4 紙 52.0、第 5 紙 52.0、第 6 紙 52.1、第 7 紙 52.0、第 8 紙 51.7、第 9 紙 49.6、第 10 紙 50.1、第 11 紙 50.1、第 12 紙 50.0、第 13 紙 50.1、第 14 紙 50.1、第 15 紙 50.0、第 16 紙 49.9、第 17 紙 49.9、軸付紙 1.6 cm

○作品概要 卷子装。

○奥書など 奥書「一交了／奉施入 錢百文 佛阿弥陀佛 南野田／寛喜元年六月十五日」。本紙料紙各紙背に「東大寺八幡宮」(朱文複郭長方印)の黒印各 1 面有り。本紙料紙各紙背に「永観文庫」(朱文単郭方印)の朱印各 1 面有り。本紙料紙第一紙から八紙紙背に花押各一面有り。箱蓋表と表紙にラベル「永観文庫」「2A/23」各 1 枚有り。

○購入金額 1,890,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

10 ○種 別 < 書跡 >

○名 称 重要文化財 馮子振墨蹟 与放牛光林語(じゅうようぶんかざい ふうしんぼくせき ほうぎゅうこうりんにあたるご)

○員 数 1 幅

○作 者 馮子振(1257-1327?)

○時 代 中国 元時代・14 世紀

○品 質 紙本墨書

○寸法等 縦 33.4 横 88.7 cm

○作品概要 掛幅装。

○釈 文「日本僧、自号林放／牛。冲泊静閑、意／趣不苟。方当梅子熟／於吳苑、瞻匐香於／蘇台、緑野微茫／青山嬾散。放牛、此際、／以古鉢為芳草、以壞／衲為眠蓑。他日、露地／慕牽蔗園、依旧／還尋船絵、不駕鞍／騎。鈍鉄吹毛、償他／舐犢。至是時臥取／明月、吸他清風、三／界外、別有町■(田+童)在。／海粟老人／(朱文方印「子振」)(白文方印「海粟」)(朱文方印「怪々道人」)

○来 歴 疋田家…矢倉家…福井恒斎一個人

○購入金額 120,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

11 ○種 別 < 彫刻 >

○名 称 銅造観音菩薩立像(どうぞうかんのんぼさつりゅうぞう)

○員 数 1 軀

○時 代 中国 隋時代・6-7 世紀 ○品 質 銅鑄造・鍍金 ○寸 法 等 総高 36.7 像高 23.8 cm

○作品概要 菩薩形立像。

○購入金額 63,000,000 円（平成21年度第1回鑑査会議）

12 ○種 別 < 陶磁 >

○名 称 朝鮮唐津水指 唐津(ちょうせんからつみずさし からつ)

○員 数 1 口

- 窯・制作地等 唐津
  - 時代 江戸(桃山)時代・17世紀
  - 品質 陶器
  - 寸法等 高 15.8 口径 9.1 底径 11.1 最大径 22.8 cm
  - 作品概要 叩き成形の水注形手付の水指。
  - 購入金額 12,600,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 13 ○種別 <陶磁>
- 名称 絵唐津草文壺 唐津(えからつそうもんつぼ からつ)
  - 員数 1口
  - 窯・制作地等 唐津
  - 時代 江戸(桃山)時代・17世紀
  - 品質 陶器
  - 寸法等 器高 14.3 口径 11.6 底径 8.1 最大径 18.7 cm
  - 作品概要 右轆轤の成形による壺。
  - 購入金額 18,900,000 円 (平成21年度第1回鑑査会議)
- 14 ○種別 <陶磁>
- 名称 播座双耳水指 唐津(るいざそうじみずさし からつ)
  - 員数 1口
  - 窯・制作地等 唐津・甕屋の谷窯
  - 時代 安土桃山-江戸時代 17世紀
  - 品質 陶器
  - 寸法等 高 18.7 口径 12.2-12.5 最大径 20.9(底径)15.5 cm
  - 作品概要 叩き成形で3足と双耳を付けた水指。
  - 購入金額 14,500,000 円 (平成21年度第2回鑑査会議)
- 15 ○種別 <陶磁>
- 名称 文琳茶入 銘 薩摩文琳 薩摩(ぶんりんちやいれ めい さつまぶんりん さつま)
  - 員数 1口
  - 窯・制作地等 薩摩
  - 時代 江戸時代・17世紀
  - 品質 陶器
  - 寸法等 高 7.4 口径 2.3 胴径 7.4 底径 3.0 cm
  - 作品概要 文琳形の茶入。
  - 来歴 薩摩藩為島津家。(昭和3年売立)東京国立博物館寄託
  - 購入金額 36,750,000 円 (平成21年度第2回鑑査会議)
- 16 ○種別 <陶磁>
- 名称 薩摩切子 三段重(さつまきりこ さんだんじゅう)
  - 員数 1合
  - 窯・制作地等 薩摩
  - 時代 江戸時代・安政 2-6年(1855-59)
  - 品質 紅色被せガラス
  - 寸法等 総高 12.4 最大径 10.3 蓋高 3.0 上段高 3.8 中段高 3.8 下段高 4.1 径 10.0 下段底径 10.0 上・中段底径 9.3 蓋詰め込み部径 9.1 同高 0.8 cm
  - 作品概要 透明ガラスはわずかに黄色味を帯びる。
  - 購入金額 21,000,000 円 (平成21年度第2回鑑査会議)
- 17 ○種別 <陶磁>
- 名称 薩摩切子 栓付瓶・杯(さつまきりこ せんつきへい・はい)
  - 員数 1具
  - 窯・制作地等 薩摩
  - 時代 江戸時代・安政 2-6年(1855-59)
  - 品質 ガラス
  - 寸法等 瓶高 21.4 口径 4.5 底径 5.7 最大径 9.6 蓋高 6.5 最大径 5.3 盃高 4.4 口径 7.6 底径 3.0 cm
  - 作品概要 瓶:紅被せガラス。
  - 来歴 渡邊千秋旧蔵
  - 購入金額 23,100,000 円 (平成21年度第2回鑑査会議)
- 18 ○種別 <漆工>
- 名称 屈輪堆黒払子(ぐりついこくほっす)
  - 員数 1本
  - 時代 中国 南宋時代・13世紀
  - 品質 木製漆塗
  - 寸法等 全長 51.2 軸長 14.8 径 2.0 cm

- 作品概要 軸を彫漆の技法で飾った払子。
  - 購入金額 15,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）
- 19 ○種別 <漆工>
- 名称 蒲公英蜻蛉堆朱合子(たんぽぼとんぼついしゅごうす)
  - 員数 1合
  - 時代 中国 南宋時代・13世紀
  - 品質 木製漆塗
  - 寸法等 径 7.7 高 2.4 cm
  - 作品概要 丸形、印籠蓋造の合子。
  - 購入金額 15,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）
- 20 ○種別 <漆工>
- 名称 蓮華堆黒盆(れんげついこくぼん)
  - 員数 1枚
  - 時代 中国 南宋時代・13世紀
  - 品質 木製漆塗
  - 寸法等 縦 11.1 横 22.0 高 2.1
  - 作品概要 長方形の小形の盆。
  - 銘文など 高台内針刻銘「張成造」、「項墨林家蔵」
  - 購入金額 15,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）
- 21 ○種別 <漆工>
- 名称 後赤壁賦堆朱盤(こうせきへきふついしゅばん)
  - 員数 1枚
  - 時代 中国 南宋時代・13世紀
  - 品質 木製漆塗
  - 寸法等 径 34.2 高 5.0 cm
  - 作品概要 やや大ぶりな丸形の盤。
  - 購入金額 136,500,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）
- 22 ○種別 <考古>
- 名称 彩漆盤 元始四年銘(さいしつばん げんしよねんめい)
  - 員数 1口
  - 作者・制作地等 蜀郡西工
  - 時代 前漢・元始四年(後4年)
  - 品質 彩漆丸盤
  - 寸法等 口径 26.8 底径 11.1 高 6.7
  - 出土地 伝 朝鮮樂浪古墓
  - 作品概要 素地は布着せの夾紵胎とする。
  - 銘文など 銘文「元始四年／蜀郡西工／造乘輿髹形畫紵黄鈿飯槃／容一斗／髹工石／上工譚／銅鈿黄塗工豊／畫工張／彤工戎／清工平／造工宗造／護工卒史章／長良／業鳳／掾隆／令史褒为」
  - 購入金額 50,000,000 円（平成21年度第1回鑑査会議）
- 23 ○種別 <歴史資料>
- 名称 江戸長崎街道図帖(えどながさきかいどうずじょう)
  - 員数 1帖
  - 時代 江戸時代・18世紀
  - 品質 紙本著色
  - 寸法等 縦 51.4 横 57.4 全長 1951.6 cm
  - 作品概要 折本装。
  - 購入金額 10,000,000 円（平成21年度第1回鑑査会議）
- 24 ○種別 <歴史資料>
- 名称 平定両金川得勝図(へいていりょうきんせんたくしょうず)
  - 員数 16枚
  - 時代 清時代・18世紀
  - 品質 紙本銅版画
  - 寸法等 台紙 縦 55.6 横 95.0 本紙①縦 53.0 横 90.8、②縦 52.1 横 98.9 ③縦 53.0 横 90.8 ④縦 53.2 横 95.6 ⑤縦 53.0 横 90.5 ⑥縦 52.8 横 90.7 ⑦縦 52.9 横 91.0 ⑧縦 52.9 横 90.5 ⑨縦 53.0 横 90.7 ⑩縦 52.9 横 90.7 ⑪縦 52.4 横 91.0 ⑫縦 52.7 横 91.0 ⑬縦 53.0 横 90.7 ⑭縦 52.9 横 91.4 ⑮縦 53.1 横 90.8 ⑯縦 52.9 横 90.5 cm
  - 作品概要 台紙貼り。
  - 購入金額 12,000,000 円（平成21年度第2回鑑査会議）

(注)国立文化財機構HPより。作品概要及び写真は省略

## (独)国立文化財機構における文化財の買取手続について (各国立博物館ごとに対応)

